## いきいきまえばし人

ハレルワ代表理事
間々田 久渚さん・33歳
天川町

# 自分らしくいられる居場所づくりを

市男女共同参画審議会委員を務める間々田さんは、自身がトランスジェンダーの当事者であることをオープンにし、LGBTQ支援団体・ハレルワで居場所づくりや啓発活動をしている。

「幼い頃からいわゆる女の子向けのおもちゃやスカートを好まず、自分は周りの子と違うのかもしれないと思うこともありました。でも家族などには言い出せずにいました」と間々田さん。高校では秋冬だけ認められていたスラックスを着用していた。

「両親に男性用のスーツで大学の入学式に出席したいと伝え、初めてきちんと自分自身のことを告白しました。すぐに理解してもらえたわけではありませんが、この頃から男性としての生活が始まりました」

その後、就職を経て、元々参加者として活動していたハレルワの代表理事に就任。中心市街地でコミュニティスペース「まちのほけんしつ」を不定期で開催。LINEによる個別相談を定期的に実施するほか、昨年にはレインボーパレードを北関東で初めて本市で開催した。

「今も悩み、孤独を感じている人がいます。相談や居場所づくりをはじめとした活動がさまざまな人を支えられるように、未来に向けて種をまくように活動してます。そして、いつかハレルワがなくても良い社会になったらうれしいです」と間々田さん。6月はプライド月間。各地がレインボーカラーに彩られる。

## 魅力発見！ ひろがるスロー 前橋・赤城

〔Vol.11〕シンボルモニュメント

問 広報ブランド戦略課
☎ 027-898-6971

本市では、豊かな自然と歴史の息づかいを身近に感じ、手間暇掛けた生活のよろこびを実感できるまちづくり「スローシティ」を進めています。

デジタル化や効率化が優先される「ファスト」な現代社会の中で、人と人とのつながりを大切に、引き継がれてきた文化的遺産の価値や先人の知恵を新しい世代に伝えていきます。

今回は、スローシティエリアを視覚で感じる「スローシティシンボルモニュメント」を紹介します。

このモニュメントは、スローシティ「前橋・赤城」を周知するため、スローシティ国際連盟のシンボルであるカタツムリをモチーフに、金属彫刻家の茂木康一さんが平成30年3月に制作。モニュメントの周りには、花壇が設置され、赤城山や畜産試験場の広大な牧草地を背景に、美しいモニュメントを楽しむことができます。

※前橋・赤城地域（芳賀・大胡・宮城・粕川・富士見地区の一部）は、平成29年にスローシティ国際連盟の加盟が認められています。

スローシティシンボルモニュメント
設置場所：富士見町小暮2416 - 1（畜産試験場牧草地内）
※駐車場はありません

cittaslow Maebashi Akagi

公式ハンドブック「ヤッホースローシティ」はこちら

スローシティエリア地図（公式ハンドブック「ヤッホースローシティ」から）

## クローズアップ CLOSE UP

### 6年ぶりの開催に沸く

4月19日・20日、約6年ぶりに敷島浄水場の一般開放イベントを実施。塩ビ管水鉄砲作り体験やマンホールTシャツ作成体験、約30mの高さに上る新配水塔の見学などでは、長い行列ができ、来場者は久しぶりの開催を楽しみました。

### 変化する絵を体験して

6月22日㈰まで開催しているアーツ前橋企画展「石田尚志 絵と窓の間」。自身が描いた絵画を連続的に撮影するドローイングアニメーションの映像や幼少期の作品、初公開作品を含め約80点を展示。訪れた人たちは映像美に魅了されました。

### 約7000株のバラ満開に

敷島公園門倉テクノばら園で春のばら園まつりを5月22日まで開催。11日にはサヘル・ローズさんらによるトークショーを実施しました。また、夜のライトアップではバラと光の幻想的な空間を演出。あかぎの輝きなどのバラが園内を彩り、多くの人が満開のバラを楽しみました。